

関係者様各位

第15回「臨床力！ステップアップ講座Ⅱ」開催のご案内

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
このたびは、Breathing Care Tokyo 主催の第15回「臨床力！ステップアップ講座Ⅱ」開催のご案内をさせていただきます。

Breathing Care Tokyo ではいくつかのカテゴリーにて講習会を展開しておりますが、「臨床力！ステップアップ講座Ⅱ」は、「胸郭運動システムの再建法」のコンセプトに基づき、胸郭と歩行の 関係に焦点をあてた2日間で行う2nd-stage セミナー（1st-stage：胸郭運動システムアプローチ講座）です。

胸郭のアライメントと荷重関節の筋の緊張とは互いにリンクしています。胸郭のコンディションに荷重関節のファンクションは依存し（下行性の反応）、荷重関節のコンディションに胸郭のファンクションは依存します（上行性の反応）。

今回のセミナーでは、下行性の反応および上行性の反応について8つの事象について、実技を通し両者の関係性を捉え、理解を深められるように構成しております（2ページ目参照）。特に、胸郭運動システムの異常で生じる歩行の特徴を観察し、足部に操作を加えて生じる胸郭の機能変化を捉え、足部と胸郭とのリンクを十分に理解できるよう、歩行分析に多くの時間を充てます。

ご興味をもっていただける先生方には是非ご参加いただければ幸甚です。なお、ご参加をいただける場合は、お手数ですが、下記のメールアドレスまでお知らせください。皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 開催日：2022年7月30日（土）・7月31日（日）
2. 講師：柿崎藤泰（文京学院大学）
3. テーマ：胸郭運動システムの異常と歩行 -胸郭左側方偏位者の歩行を捉える-
4. 時間：30日（土）14:30 - 18:30（14:00 開場受付）
31日（日）10:00 - 16:00（9:40 開場、昼休憩 1 時間）
5. 受講費：¥27,000-（税込）（お申し込み後、お振込のご案内を致します）
6. 定員：14名
7. 場所：Breathing Care Tokyo（最寄駅：JR 秋葉原駅 徒歩 10 分）
〒110-0016 東京都台東区台東 1 丁目 23-12 パールヨットビル 2F
8. お申し込み先・お問い合わせ先：
e-mail：breathingcaretokyo@gmail.com（セミナー事業部迄）
お申し込みの際は、以下の項目をご記入ください。
 - ① 氏名（ふりがな）
 - ② 性別
 - ③ 所属施設名（都道府県名含む）
 - ④ 職種
 - ⑤ 経験年数
 - ⑥ メールアドレス（PC とスマートフォン）
 - ⑦ 当日連絡可能な電話番号

尚、定員になり次第、締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

以上

講師：柿崎 藤泰（文京学院大学）
テーマ：胸郭運動システムの異常と歩行
-胸郭左側方偏位の歩行を捉える-



[講習の概要]

胸郭運動システムの異常は、胸郭の左側方偏位の定着により容易に生じる。胸郭左側方偏位は軸脚である左下肢上に僅かな重みの偏りをつくるのに有効であり、その効果は左下肢の軸機構を強化できる。しかしその反面、胸郭形状や運動には可逆的な非対称性を惹起する。高い割合で生じる胸郭の左側方偏位者においては、その胸郭アライメントや運動からの感覚を介し、特徴的な足部での荷重パターンが現れる。その異常性に対しては、足部への介入で荷重感覚を変化させることで生じる身体反応は胸郭にも生じ、歩行を安定させることが可能である。歩行を介し上行性の反応を捉えることがこの講習の核となる。

[講習の目的]

足部に対しアプローチした際に生じる上行性の反応について理解する。

[講習の目標]

胸郭の機能と荷重関節の機能の相互関係について説明できる。
歩容変化を確実に捉えることができる。

[講習の内容]

◇ 1 日目

1. 胸郭運動システムの異常
2. 胸郭運動システムの異常と歩行との関係性
 - 2.1 立脚期前半でみられる股関節内旋運動のタイミングに関わる事象
 - 2.2 立脚期前半の骨盤側方移動に関わる事象
 - 2.3 骨盤挙上に関わる事象

◇ 2 日目

- 2.4 骨盤回旋に関わる事象
- 2.5 脛骨側方傾斜に関わる事象
- 2.6 左側からの重心移動の転換に関わる事象
- 2.7 右側の中足部に関わる事象
- 2.8 脛骨の前後方向への傾斜に関わる事象

[プロフィール]

- | | |
|-----------|---|
| 1991年 3月 | 社会医学技術学院理学療法学科卒業 理学療法士国家資格取得 |
| 同 年 4月 | 昭和大学藤が丘リハビリテーション病院リハビリテーション部勤務 |
| 1994年 4月 | 昭和大学医学部第二生理学教室特別研究生 |
| 1997年 4月 | 昭和大学附属豊洲病院リハビリテーション部主任として異動 |
| 1999年 12月 | アメリカ呼吸管理学会（American Association for Respiratory Care）
「Respiratory Care」にて 1999 年 Best Original Paper Award 受賞 |
| 2002年 3月 | 昭和大学医学部第二生理学教室 博士課程修了（医学博士） |
| 2006年 3月 | 昭和大学附属豊洲病院退職 |
| 同 年 4月 | 文京学院大学保健医療技術学部理学療法学科准教授として勤務 |
| 2012年 4月 | 同大学 保健医療技術学部教授、保健医療科学研究科教授として勤務 |
| 2017年 12月 | Breathing Care Tokyo 株式会社 設立 |

現在に至る

[主な著書]

- 2013年 新人・若手理学療法士のための最近知見の臨床応用ガイドスー筋・骨格系理学療法 文光堂
2013年 呼吸リハビリテーションの理論と技術 改訂第2版 MEDICAL VIEW
2015年 理学療法技術の再検証 科学的技術の確立に向けて（理学療法 MOOK 17）三輪書店
2016年 胸郭運動システムの再建法 呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 三輪書店
2017年 運動のつながりから導く肩の理学療法 文光堂
2017年 胸郭運動システムの再建法 第2版-呼吸運動再構築理論に基づく評価と治療 ヒューマン・プレス社
2020年 運動のつながりから導く姿勢と歩行の理学療法 文光堂

[主なビデオ・CD]

- 2014年 胸郭運動システムの再建法 ～運動器として捉えた胸郭の機能評価と治療展開～ ジャパンタイム社
2017年 胸郭運動システムの再建法セミナー ～レッドコードを利用した治療戦略～ ジャパンタイム社